

□□ _____ □□

3. お知らせ … 第36回自費出版アドバイザー講座
「自費出版を電子出版する方法
デジタルハイブリット出版の可能性」申込受付中
(添付PDFご参照)

□□ _____ □□

自費出版のお客様から、電子出版の問い合わせが増えているという報告が複数の事業者から出ています。自費出版も紙と電子の両方同時の出版の時代がすぐそばまで来ているようです。今のうちに電子出版制作と販売の要点を学んではいかがでしょうか。

□□ _____ □□

4. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.46

□□ _____ □□

「こずえちゃんと八郎さん」

くまがい書房（株式会社くまがい印刷）
熊谷 正司

今から14年前、FMラジオを漠然と聞いていたらふと耳にとまった放送があった。

ある女流絵本作家の話であった。書き留めている「こずえちゃん」の原稿がだいふたまってきた。三つつになったばかりの女の子から見た数々の不思議な光景、それを文章と絵にした作品らしい。

出版したいけれどお金がない・・・ということだったが、私は何を思ったのか、FMラジオ局に「私が出版するので任せてくれ」とFAXした。
それが我がくまがい書房の始まりだった。

その本は秋田県を中心として大変話題になり、その後英訳版や電子書籍も出版し、くまがい書房の初めての企画出版として体をなした作品であった。

秋田県が生んだかの有名な漫芸家「大瀧八郎」の自叙伝を発行することとなり、縁あって私にその出版の話が持ち込まれた。大瀧先生は咽喉癌をわずらい、声も思うように出ず、聞き書きで進めることとなった。

既に余命一年を宣告され、超特急の出版作業が進められた。

日に日に彼の体力は衰えていくのがわかった。しかし、昭和初期の人間の気力は強く、自叙伝出版という新しい大きな目標をがあったからこそ、余命を超えて力強く生きてこられた。

めでたく2009年11月発刊を迎え、秋田市内の有名書店にて盛大に出版サイン会が行われた。

白いタキシードを身に着け、嬉しそうにサインをする大瀧先生が今でも目に浮かぶ。翌年3月に惜しまれてお亡くなりになった。私の出版人生でこれほど人のために尽くしたという

ことはなく、私自身嬉しく素晴らしい仕事を成し遂げたと思っている。

企画、監修、印刷・製本が当社内で出来ることもあり、くまがい書房の企画出版・自費出版が、その後当社の大事な一部門を担うことになっていった。

出版という仕事は、作者の作品を本という媒体を通して読者にいかにうまく伝えるかということ

である。私たちの真のお客様は作者の向こうにいる読者である。まさに、我々編集者や監

修者が、
まずは作者の気持ちに入り込んでいく。作者の心を読み取れる能力を養うことが大切にな
ってくる。
今後も文字文化の伝達の担い手として、そして少しでも出版文化を広める力になれば
と思っております。
自費出版ネットワークの今後も益々のご発展をご祈念いたします。

□□ _____ □□

☆ 知っとこ 岐阜 ☆ (再)その5

□□ _____ □□

知っとこ岐阜 その5
岐阜のソウルフード② 漬物ステーキ

今回は少し変わった岐阜の郷土料理をご紹介します。
某テレビ番組でも紹介されたので、ご存じの方もみえるかもしれません。
その名は『漬物ステーキ』。主に飛騨地方で食べられていて、
通称『ツケステ』とも呼ばれています。

昔の飛騨地方はとても山深く、今と比べものにならないくらい雪も
多く降りました。そんな土地柄、寒い冬の貴重な栄養源でもある漬物が
野菜の役割を果たしていました。極寒の中、凍ってしまった漬物を
囲炉裏端や朴(ほお)葉(ば)の葉で焼いて食べたのが『漬物ステーキ』の
始まりだといわれています。

調理方法はいたって簡単。フライパンや鉄板にゴマ油をひき、ざく切りに
した白菜の漬物を炒めます。白菜に焼き色が少し付いたら、醤油や
めんつゆで味付けをします。最後にかき混ぜた卵を回しかけたら完成。
お好みで、鰹節や一味などをかけるとより一層おいしくいただけます。
ご飯のおともはもちろん、酒のつまみにも合う1品です。
自宅にある調味料で簡単に作ることができるので一度お試しあれ。

株式会社 岐阜文芸社 飯尾みゆき

★あとがき

会員便り～の熊谷さまのお話を読んで、自社のことも思い出しました。
この自費出版ネットワークには多くの印刷会社さんが加入していて、そこから
出版することに至るにはいろいろなきっかけがあると思います。
自社もまたお客さまの「この本出版したいんだよな～」の一言がきっかけでした。

「本を創る」だけでなくそれを多くの人に「届ける」という使命があることを
改めて思った寄稿文でした。

読書に良い季節になってきましたね。

最後までお読みくださりありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。

*****:

◆日本自費出版ネットワーク事務局
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階
電話 : 03-5623-5411
FAX : 03-5623-5473

<http://www.jsjapan.net/>

*****: